



唐鎌 直義 KARAKAMA Naoyoshi

職名 特任教授

担当科目 社会保障論Ⅰ・Ⅱ、ケア財源・負担論、経済学

学歴 静岡大学人文学部法律経済学科経済学専攻卒業
中央大学大学院経済学研究科博士後期課程満期退学

学位 修士(経済学)

主な職歴 長野大学産業社会学部助教授、大正大学人間学部教授、専修大学経済学部教授、立命館大学産業社会学部教授
非常勤講師歴(獨協大学経済学部、日本社会事業大学、中央大学経済学部、東洋大学経済学部、日本女子大学人間福祉学部、大阪市立大学大学院法学研究科、佛教大学)

研究分野／ 社会保障の日英比較、国民生活研究

Key word 現代の貧困、低所得・不安定階層、失業・半失業、福祉の普遍化、所得再分配、平等

主要著書・
学術論文

1. 『脱貧困の社会保障』(単著、旬報社、2012年)
2. 『日本の高齢者は本当にゆたかか』(単著、萌文社、2002年)
3. 『ここまで進んだ!格差と貧困』(共著、新日本出版社、2016年)
4. 『社会保障再生への改革提言』(共著、新日本出版社、2013年)
5. 『大量失業社会の労働と生活—150人のオーラルヒストリー』(共著、大月書店、2012年)
6. 『福祉論研究の地平—論点と再構築』(共著、法律文化社、2012年)
7. 「新型コロナ・パンデミックが暴いた『就労自立社会』の矛盾」(『実践自治 Beacon Authority 2020夏号 第82巻、イマジン出版、2020年)
8. 「コロナ対策にみる公衆衛生の現状と弱者切り捨て社会」(『経済』9月号 No.300、新日本出版社、2020年)
9. 「コロナ禍とこれからの日本の社会保障」(『月刊 保険診療』第75巻 第11号、医学通信社、2020年)
10. 「増え続ける貧困高齢者とその対策」(『実験医療・増刊 総力戦で挑む老化・長寿研究』第35巻 第203号、羊土社、2018年)

所属学会 社会政策学会、経済統計学会

主な社会
貢献活動

1. 東京都葛飾区介護保険事業審議会副会長(現職、1998年から委員)
2. 群馬県館林市男女共同参画審議会委員(2005年度～、2017年度まで会長)
3. 労働総研理事(2002年～)
4. 総合社会福祉研究所理事(2007年～)
5. 全日本年金者組合第3次最低保障年金制度案策定委員長(2017年～2018年)
6. 全国年金減額違憲訴訟意見書提出(2018年、東京地裁)、原告側証人喚問(2019年5月、大阪地裁、2021年10月、和歌山地裁)

出前授業
テーマ 社会保障の動向と国民生活の現状

E-mail

n-karakama@saku.ac.jp